

認知症施策の実施状況（条例の4つの柱に基づく分類）

（1）予防及び早期介入

○WHO 神戸センターと神戸大学等による共同研究への協力

介護予防事業の対象者選定に用いる「基本チェックリスト」に回答した約8万人のデータやフレイルチェック結果データと、その後の要介護状態との、認知症関連の比較・分析を実施。本市はデータの提供等による協力・連携。

○認知症にやさしいまちづくり推進のための連携と協力に関する協定

〈医療産業都市にて実施〉

平成28年3月に、神戸市、先端医療振興財団（現：神戸医療産業都市推進機構）と日本イーライリリー株式会社の間で協定を締結。

※日本イーライリリー株式会社が理解促進・意識啓発のため、啓発ムービーを作成（平成29年12月）。

※エーザイ株式会社（平成26年6月）、第一三共株式会社（平成27年2月）と、認知症を地域で支えるまちづくりの連携や推進に係る協定を締結。

（2）事故の救済及び予防

○認知症と診断された人が関わる事故に関する救済制度

※内容・実績については資料3を参照

○高齢運転者による交通事故の防止に向けて、移動手段の確保その他地域での生活支援に努めるとともに、認知症の疑いがある人の運転免許自主返納を推進する。

・認知症診断助成制度の認知機能検診（第1段階）において、受診者へ運転免許自主返納のリーフレットを渡している。

（3）治療及び介護の提供

○あんしんすこやかセンターの認知症相談対応の充実

令和5年度 あんしんすこやかセンターでの認知症に関する相談件数：22,645件

○認知症診断助成制度

※内容・実績については資料3を参照

○認知症初期集中支援チーム

認知症の疑いがあるが、医療・介護サービスを利用していない方や、受診拒否・認知症による行動の問題が顕著で対応に苦慮している方への対応のため、ご自宅を看護師等の専門職のチームが訪問し、介護や医療に繋げる事業。

※令和5年度：相談件数：189件、訪問回数：2,184回

○認知症疾患医療センター

認知症の鑑別診断に加え、専門医療相談及び診断後の相談支援を実施する地域での認知症医療提供の拠点。市内に7箇所設置。

※令和5年度：相談件数9,420件 鑑別診断件数：2,247件

○認知症サポート医の養成

かかりつけ医への助言、専門医療機関やあんしんすこやかセンター等への連携の推進役となる認知症サポート医を養成

※令和5年度末 累計234名

○かかりつけ医認知症対応力向上研修

認知症の初期症状に早期に気づき、必要に応じて適切な医療機関につなぐため、身近なかかりつけ医を対象に、認知症の診断・治療や地域との連携等について研修を実施

※令和5年度末 受講者累計773名

○病院勤務の医療従事者に対する認知症対応力向上研修

一般病院勤務の医師・看護師等の医療従事者向けに、基本知識や医療と介護の連携の重要性、認知症ケアの原則等の知識について研修を行い、病院での認知症の人の手術や処置等の適切な実施の確保を図る。

※令和5年度末 受講者累計279名

○病院勤務以外の看護師等認知症対応力向上研修

病院勤務以外（診療所、訪問看護ステーション、介護事業所、入所施設等）の看護師、リハビリ職種等の医療従事者に対し、認知症の人や家族を支えるための必要な基本知識や認知症ケアの原則及び医療と介護の連携の重要性等の知識が学べる研修を実施。

※令和5年度末 受講者累計179名（令和5年度 44名受講済）

○認知症介護研修

認知症介護に関する職場において、認知症高齢者のおかれている立場に配慮した、質の高い介護と援助が行われ、認知症高齢者が尊厳を持って生活を送ることができるよう専門職の養成を行うことを目的としている。

※令和5年度末：受講者数累計 8,102名

(基礎、実践者、実践リーダー、介護指導者)

○KOBE みまもりヘルパー

認知症または軽度認知障害（MCI）と診断された方を対象に、ご自宅に訪問し、見守りや話し相手、外出の付き添い等（介護保険外サービス）を実施。

※令和3年3月開始

※令和6年6月末時点 利用登録者数：59名

(4) 地域の力を豊かにしていくこと

○「地域拠点型」一般介護予防事業

「地域拠点型」一般介護予防事業は、地域福祉センター等で原則週1回、2.5～4時間程度、体操やレクリエーション、給食、専門職による介護予防講座等、様々なメニューを地域の特色にあわせて提供している。

※令和6年7月末時点：88ヶ所

○つどいの場支援事業

高齢者の社会参加や生きがいがいづくりにより、介護予防に資する身近な地域の「つどいの場」を拡充するため、原則月1回以上、通年開催されるなど要件を満たす「つどいの場」を運営する団体に対して、会場費など運営費の一部を補助するものである。

※令和6年8月1日までに：計253団体に交付決定

○認知症カフェ登録事業の推進

認知症の人と家族、地域住民、専門職等の誰もが自由に参加し、気軽に交互交流や相談等ができる地域に開かれた集いの場を登録・紹介

※令和6年8月1日時点：40箇所

○地域包括支援センター単位での声かけ訓練の拡充

認知症の人の地域での見守り体制を構築するため、あんしんすこやかセンター単位（市内 76 センター）での声かけ訓練を実施する。

令和 5 年度 52 センターで実施

○認知症サポーターの養成

地域全体で認知症の人を見守るため、国が規定する研修を実施し修了者には認知症の人の理解者の証であるオレンジリングを配布。

※令和 5 年度末時点 受講者累計 138,976 名

（うち企業等 31,849 名、学校 31,951 名）

○認知症地域支えあい推進事業

認知症の方や認知症の疑いのある方が、生きがいを持って積極的に社会参加できるよう、地域における認知症についての理解を深める学習会の開催や、認知症予防の取組みを支援するため、地域に専門職を講師として派遣。

※令和 4 年 10 月より講師派遣開始

※令和 5 年度 115 団体（合計 205 回）講師派遣実施

○GPS 安心かけつけサービス

行方不明者の事故を防止する対策として、GPS 等を活用した行方不明者の早期発見・早期保護のための取組みを推進する。

※契約数等は資料 3 を参照

○高齢者安心登録事業の推進

行方不明などの心配がある在宅高齢者が事前登録を行い、あんしんすこやかセンターや警察等と情報を共有するとともに、行方不明時には電子メールで行方不明発生情報を配信し、警察への情報提供を呼びかけ、早期発見と保護を目指す。

※令和 6 年 6 月末時点 登録高齢者：2,353 名、捜索協力者の登録状況：771 名

○認知症ケアパス

認知症の症状に応じ、いつ、どこで、どのような医療・介護等のサービスを利用できるかについて、地域資源を整理してまとめたもの。

※平成 30 年度より全区版を発行。

※令和 4 年度には全面改訂を実施。計 16 ページの「冊子版」、A3 裏表両面の「概要版」の 2 種類を作成。

○認知症地域支援推進員の配置

認知症の相談対応に加え、認知症初期集中支援事業などにおいて地域の支援機関をつなぐコーディネーター役として、各あんしんすこやかセンター等に兼務で配置している。

※令和 6 年 4 月 1 日時点 101 名

○行方不明者緊急保護事業

神戸市内の警察官により保護された身元不明の高齢者を、特別養護老人ホームに緊急かつ一時的に保護する。

※令和 5 年度実績 1 件

○成年後見等の権利擁護

成年後見制度の利用が必要な方で、身寄りの無い方について、市長申立を行っている。また、成年後見支援センターの運営を市社会福祉協議会へ委託し、成年後見制度に関する相談や利用支援等を行っている。さらに、市社会福祉協議会内の、安心サポートセンターでは、権利擁護相談や、介護保険など様々な福祉サービスの利用手続きのお手伝い、日常的な金銭管理等を行う「日常生活自立支援事業」を行っている。

令和 5 年度

- ・神戸市長申立件数：65 件
- ・成年後見制度に係る電話・来所等相談件数：1,572 件
 専門相談件数：85 件
- ・日常生活自立支援事業利用者数：612 件

○その他普及啓発（主なもの）

《令和 4 年度》

- ・SNS を活用した広報の実施

※配信媒体：Instagram、Facebook（SNS 広告を配信）

配信地域：神戸市（神戸市域にいる人への配信）

配信対象年齢：40歳以上

配信期間：令和4年12月23日から約2か月間

- ・「広報紙KOB E」令和4年10月号に認知症神戸モデルと認知症地域支えあい推進事業に関する特集記事
- ・世界アルツハイマーデー（9月21日）に関する普及啓発
 - ※記念講演会を「認知症の人と家族の会 兵庫県支部」と共催実施（9月24日）
 - ※明石海峡大橋、ハーバーランド（モザイク）の観覧車等ライトアップ
 - ※認知症に関する資料及び展示、配布（中央図書館、東灘図書館、灘図書館、垂水図書館、須磨図書館、新長田図書館、三宮図書館、北図書館、北神図書館）
- ・さんちか花時計ギャラリーで認知症神戸モデルのポスター、パネルの展示（9月15日～21日）

《令和5年度》

- ・世界アルツハイマーデー（9月21日）に関する普及啓発
 - ※記念講演会を「認知症の人と家族の会 兵庫県支部」と共催実施（9月16日）
 - ※明石海峡大橋、ハーバーランド（モザイク）の観覧車等ライトアップ
 - ※認知症に関する資料及び展示、配布（北図書館 北神図書館 垂水図書館 東灘図書館 三宮図書館 新長田図書館 須磨図書館 名谷図書館 中央図書館 灘図書館 兵庫図書館 西図書館）
- ・さんちか花時計ギャラリーで神戸モデルのポスター、パネルの展示（9月14日～20日）

《令和6年度（予定含む）》

- ・「広報紙KOB E」令和6年5月号に認知症神戸モデルが認知症新薬（レカネマブ）にも対応することに関する記事の掲載
- ・世界アルツハイマーデー（9月21日）に関する普及啓発
 - ※記念講演会を「認知症の人と家族の会 兵庫県支部」と共催実施予定（9月28日）
 - ※明石海峡大橋、ハーバーランド（モザイク）の観覧車等をライトアップ（予定）
 - ※市内図書館に認知症に関する資料及び展示、配布（予定）
- ・さんちか花時計ギャラリーで神戸モデルのポスター、パネルの展示（9月19日～25日予定）